

2024年3月13日

## 輸送動向について（2024年2月分）

## 1. 輸送概況

長引く物価高の影響により足元で個人消費の弱い動きが続く一方、一部品目において需要の回復が見られた。また、本年はうるう年により稼働日が1日多かったこともあり、コンテナは前年を上回った。一方、車扱は石油等が減送となったため、輸送実績合計は前年を下回った。

コンテナは、食料工業品が、暖冬傾向に伴う需要増加やインバウンド需要の増加もあり外食消費の回復等により清涼飲料水、ビール類を中心に荷動き好調となり、前年を上回った。また、積合せ貨物は、2024年問題等を背景とするドライバー不足に備えた鉄道シフトにより増送となった。一方、化学薬品は、需要低迷に伴う生産減に加え、一部顧客における輸送終了や能登半島地震の影響による生産減により荷動きの低調が続いたほか、紙・パルプは、ペーパーレス化の進展に伴う紙の需要減が続き減送となった。コンテナ全体では前年比101.8%となった。

車扱は、石油が暖冬傾向に伴う燃料需要減少により灯油及び重油の荷動き低調が続き、車扱全体では前年比96.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比99.8%となった。

## 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,474	1,448	101.8%	16,384	16,554	99.0%
車 扱	779	810	96.1%	7,601	7,555	100.6%
合 計	2,254	2,259	99.8%	23,985	24,110	99.5%

## 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	140	137	2	102.1%
	化学工業品	126	123	2	101.8%
	化学薬品	90	95	-5	94.6%
	食料工業品	229	212	17	108.2%
	紙・パルプ	168	172	-4	97.3%
	他工業品	97	107	-10	90.4%
	積合せ貨物	257	240	17	107.2%
	自動車部品	60	60	0	100.3%
	家電・情報機器	29	27	1	104.9%
	エコ関連物資	29	33	-3	89.1%
	その他	245	236	9	103.8%
コンテナ計	1,474	1,448	26	101.8%	
車 扱	石油	543	569	-26	95.4%
	セメント・石灰石	129	131	-2	98.5%
	車 両	75	76	-0	99.3%
	その他	31	34	-2	92.0%
	車 扱 計	779	810	-31	96.1%
合 計		2,254	2,259	-4	99.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)